

機関誌オンライン化の検討開始について

下図は2012年度から2021年度までの学会の経常収益と経常費用の推移を表したものです。好調だった2012年度から2014年度に比べ、2019年度では主に会費収入の減少のため経常収益が約500万円減少し、経常費用は800~1,000万円増加しています。経常費用の増加については各事業項目での増加が見られます。

このような状況下で、2020年度、2021年度ともに1,000万円以上の赤字予算を組まざるを得ない状況でした。2020年度については、新型コロナウイルス感染防止のために、活動に伴う支出面が縮小したこと、事業継続のための補助金を獲得したことにより1,400万円の赤字を縮小することができました。2021年度からは副賞金を0にしたことおよび海外派遣補助を取りやめたことで予算の赤字額を削減しましたが、抜本的な改革が必要な状況であることは疑いようがありません。

2019年度の事業区分ごとの収支において、機関誌の発行は費用が年間約1,200万円かかる大きな事業です。このうち冊子体の印刷と製本および発送の費用が約50%を占めています。一方、機関誌を毎月発行し、ORに関する興味深い話題を届けることは会員サービスの大きな柱です。これを継続しながら少しでも学会の収支を改善するために、理事会では、機関誌の紙媒体での作成を中止し、発行形態を学会ホームページにおける電子ファイル掲載というオンライン化にまとめる検討を始めました。新しいホームページにバックナンバーが掲載されていますので、ご覧いただくとありがたく存じます。

<https://orsj.org/corsj-backnumber>

(会員限定ページの閲覧には、ユーザ名とパスワードの入力が必要です。)

早期のオンライン化を目指しておりますので、機関誌オンライン化についてご意見をお持ちの方は、学会ホームページの

「学会だより」<https://orsj.org/announce>

の「機関誌オンライン化について」よりご意見をご投稿ください。

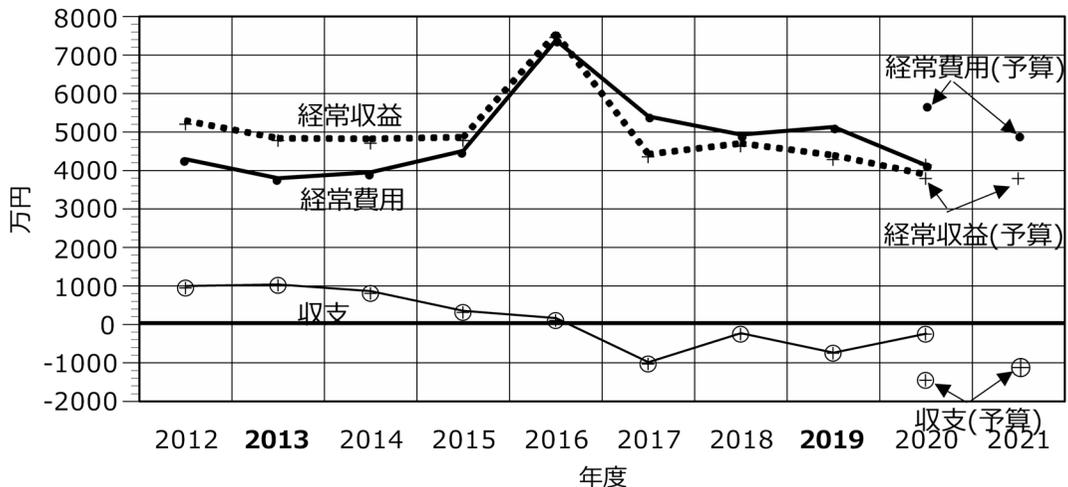


図 2012年度から2020年度の学会収支の推移 (2020年と2021年は予算も)

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、業績賞、実施賞、普及賞、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

推薦締切日：

1. 業績賞、実施賞、普及賞：2021年11月30日(火)
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2022年1月31日(月)
3. 学生論文賞：2022年3月31日(木)

* 論文賞の推薦はありません。

推薦書送付先：OR学会事務局

詳細や推薦状フォーマットは、学会WEB「OR学会各賞候補者募集」ページをご確認ください。

〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満65歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。

〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔研究賞〕

昭和43年(1968年)に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。1. 本学会員であること。2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。

〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。

〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて(非会員が含まれる場合も全員)を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。

〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、今年度中に学部の卒業論文または大学院の修士論文を提出した会員で、引き続き学生会員あるいは正会員であるものです(9月修了等も含みます)。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、本誌2月号に掲載します。

● 2021年秋季シンポジウム(第85回)

日 程：2021年9月15日(水)

場 所：オンライン開催

実行委員長：藤澤克樹(九州大学)

● 2021年秋季研究発表会

日 程：2021年9月16日(木)～17日(金)

場 所：オンライン開催

実行委員長：古川哲也(九州大学)

● 2022年春季シンポジウム(第86回)

日 程：2022年3月16日(水)

場 所：オンライン開催

実行委員長：未定(群馬大学)

● 2022年春季研究発表会

日程：2022年3月17日(木)～18日(金)

場所：オンライン開催

実行委員長：杉山 学 (群馬大学)

● 公募案内

*詳細は、各機関のWEBおよび、OR学会WEB「職員公募」をご覧ください。

・ 東京都立大学経済経営学部経済経営学科／東京都立大学(大学院)経営学研究科経営学専攻

勤務地：丸の内サテライトキャンパス

募集人員：助教

募集分野：ファイナンス、もしくはファイナンスに関連する数理学・定量分析

採用年月日：2022年4月1日以降のできる限り早い時期

任期：4年(更新なし)

提出期限：2021年8月27日(金)

その他詳細につきましては、大学HPをご覧ください。

https://www.houjin-tmu.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/0309_030827.pdf

・ 東邦大学理学部情報科学科

公募人員：講師1名(常勤専任、任期なし)

所属：理学部情報科学科・理学研究科情報科学専攻

専門分野：代数学およびその関連分野(計算代数や暗号理論など情報科学との関連分野)

応募資格：博士の学位を有する方および学位取得見込みの方、学部及び大学院学生の教育・研究指導に熱意のある方

着任時期：2022年4月1日

応募締切：2021年8月31日(火) 必着

問合先：〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1

東邦大学理学部情報科学科主任 並木 誠

TEL: 047-472-1156

E-mail: namiki@is.sci.toho-u.ac.jp

本学Webページ：<https://www.toho-u.ac.jp/sci/is/saiyo/recruit2021.html>

JREC-IN portal：https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetailfn=3&id=D121051663&ln_jor=0

・ 甲南大学知能情報学部

【公募1】

募集人員：教授または准教授

専門分野：情報通信ネットワーク分野およびクラウドコンピューティング関連分野

着任時期：2022年4月1日

応募締切：2021年9月1日必着

詳細情報：

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121060217&ln_jor=0

<https://www.konan-u.ac.jp/pdf/recruit/2021/2021-ii-youkou-01.pdf>

【公募2】

募集人員：教授または准教授1名

専門分野：数学、特に解析学系、数学とコンピュータを融合して教育・研究をできる方が望ましい。

着任時期：2022年4月1日

応募締切：2021年9月1日必着

詳細情報：

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D121060216&ln_jor=0

<https://www.konan-u.ac.jp/pdf/recruit/2021/2021-ii-youkou-02.pdf>

・ 明治大学理工学部情報科学科 教員公募(情報学基礎論関連)

職位：専任准教授または専任講師

着任時期：2022年4月1日

募集人員：1名

専門分野：計算量理論、学習理論、統計学等の情報学基礎論関連分野とその応用分野

応募資格：

- 1) 博士の学位を有すること。
- 2) 専門分野において十分な研究実績があること。
- 3) 将来、大学院後期課程の研究指導を期待できること。
- 4) 私立大学の特性に鑑み、私立大学の教育・研究および運営業務に対する理解が十分であり熱意をもって取り組めること。
- 5) 研究室を主宰して研究室の学生に教育・研究指導を行うことができること。
- 6) 日本語による講義と研究指導が可能なこと。英語での授業もできることが望ましい。

応募手続き：履歴書、業績書については本学の指定様

式のダウンロード用サイトからダウンロードして記入してください。記入上の注意も同ページにあります。<http://www.meiji.ac.jp/sst/recruit/index.html>

- 1) 履歴書（本学指定様式，写真貼付。また，「現在の勤務先での職務の状況」欄に賞罰を記載のこと。）
- 2) 業績書（本学指定様式）
- 3) 査読付き学術論文（筆頭を原則とする）5編以内の別刷り（複写可）
- 4) 私立大学における情報科学教育に対する考え方や抱負（自由形式，2,000字程度）
 - i) 例えば，機械学習や深層学習のための実習・演習や，その実習・演習で利用する教育システム等に対する考え方や抱負について述べてください。
- 5) これまでの研究概要と今後の研究に対する将来像と抱負（自由形式，2,000字程度）
- 6) 推薦書2通（自由形式，推薦者の所属・氏名・連絡先の記入と推薦者の署名捺印が必要）

応募期限：2021年9月7日（火）必着

選考方法：書類による一次審査を実施し，その合格者に対して面接（プレゼンテーションまたは模擬授業などを含む）による二次審査を実施します。

応募書類提出先及び問合せ先：〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学理工学部 情報科学科 学科長 堤利幸 宛（E-mail: tsutsumi@cs.meiji.ac.jp）。封筒に「情報科学科教員（基礎分野）応募書類在申」と朱書きし，簡易書留でご送付ください。なお，応募書類は返却いたしません。

詳細情報：<https://www.meiji.ac.jp/sst/recruit/6t5h7p0000180cjt-att/6t5h7p00003b3bav.pdf>

・青山学院大学理工学部経営システム工学科 教員公募

職名：助教

着任時期：2022年4月1日

募集人員：1名

専門分野：組合せ最適化，ゲーム理論，グラフとネットワーク，スケジューリング，アルゴリズム設計，計算複雑さなどを含む広い意味での最適化技術関連領域

担当予定科目：

経営システム工学関連の学部生向け実験・演習科目，最適化技術関連科目，計算機関連科目（C, Java, Processingを使用）など

応募資格：

- 1) 上記の科目が担当可能であり，学部および大学院の教育・研究に熱意がある方
- 2) 博士の学位を有するか取得見込みであり，相模原と青山の両キャンパスに出講できる方
- 3) 国際化に熱意のある方
- 4) 青山学院大学の建学の精神に理解がある方

応募期限：2021年9月27日（月）（必着）

詳細情報：

https://www.aoyama.ac.jp/recruit/cosae_20210427_01.html

・九州大学マス・フォア・インダストリ研究所

部門：未定

専門分野：数理統計学，統計科学，統計的機械学習，計算機統計学

公募人員：助教1名

応募資格：

- (1) 博士の学位を取得していること，または採用時までに取得見込みであること。
- (2) 数学における産学連携活動に理解と意欲があること。

職務内容：ご自身の専門性を活かして，数理統計学，統計科学の発展のための研究と教育を通じて，以下の活動に情熱を持って貢献できる方を募集します。

- (1) 物理，生物・生命，経済などの諸科学との学際的，新領域研究を進める。
- (2) 産業界が抱えている数理的な課題について委託を受けて解決する。
- (3) 大学院数理学府，および，理学部数学科専門科目の講義・演習指導，および，研究指導補佐。（基幹（全学）教育・工学部の数学科目などを担当していただくこともあります。）

採用日：2022年4月1日以降できるだけ早い時期

任期：5年（1回に限り再任可）

※ただし，九州大学において引き継ぐ雇用歴を有する場合は別途期限を付すことがある。

応募期限：2021年10月1日（金）必着

提出書類：

- (1) 履歴書
- (2) 研究業績リスト（論文，著書，講演リスト，競争的獲得資金，受賞，特許など），論文別刷（プレプリントを含む，5編以内），その他，研究活動の実績を反映する資料など。

- (3) 研究業績の説明、将来の研究計画。
- (4) ご本人について問い合わせることができる方3名の氏名と連絡先、およびそのうち1名からの推薦状。ただし、推薦状に関しては応募書類とは別便で推薦者の方が下記提出先に応募期限までにお送りいただくよう手配して下さい。ファックスによる推薦状は受け付けません。

給与：年俸制（令和2年4月1日導入の新たな年俸制）

照会・書類提出先：〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学マス・フォア・インダストリ研究所

助教候補者選考委員会宛

E-mail: jinji20210528@imi.kyushu-u.ac.jp

書類は郵送もしくはオンラインで提出して下さい。

郵送の場合

書類は封筒に「IMI助教応募書類在中」と朱書き、簡易書留で郵送してください。推薦状は、推薦者から直接郵送していただくか、pdfファイルをメールで送っていただけるように手配してください。

オンライン提出の場合

「10. 提出書類」で指定された書類（推薦状を除く）をzip形式で固め、ファイル名は「申請者氏名（提出日MM.DD).zip」の形とし、以下のURLからアップロードしてください。アップロード後、上記照会先にアップロードを行った旨連絡してください。確認後、受領メールをお送りします。メールが届かない場合には、上記照会先にご連絡ください。推薦状は上記照会先に推薦者から直接メールでお送りいただくように手配してください。

提出用URLは<https://imi.kyushu-u.ac.jp/jinji20210528>です。

その他：

- (1) 応募書類は返却致しませんが、選考終了後に裁断・消去の処分を致します。
- (2) 選考過程では、対面もしくはオンラインで面接審査を行う場合があります。対面の場合の交通費は原則自己負担とします。
- (3) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、選考を行っています。
- (4) 九州大学では、「障害者基本法」、「障害者の雇用の促進等に関する法律」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の趣旨に則り、

選考を行います。

- (5) 九州大学では、国際化を推進する観点から、採用後に英語による授業実施に積極的に取り組むことを求めています。
- (6) マス・フォア・インダストリ研究所については、下記をご参照ください。

<http://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>

問い合わせ先：九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 助教候補者選考委員会

E-mail: jinji20210528@imi.kyushu-u.ac.jp

● 協賛・後援案内

* OR学会が共催／協賛／後援するイベントの情報です。詳細は主催者へお問い合わせください。

・標準化と品質管理全国大会2021

日時：2021年10月12日(火)～14日(木)

* 産業標準化推進月間関連イベントとして、2021年10月20日(水)に都市センターホテルに於いて産業標準化事業表彰式が開催される予定です。

開催場所：オンラインおよび一般財団法人日本規格協会セミナールームA（東京都港区三田3-13-12 三田MTビル1階）でのハイブリッド開催

（10月14日(木)のみ当協会の関西支部、名古屋支部にサテライト会場を設置予定。）

主催：一般財団法人 日本規格協会

● 会員訃報

長年の本学会へのご尽力に深謝、謹んでご冥福をお祈りいたします。

尾崎 俊治 氏

2021年6月10日にご逝去されました（享年80歳）

OR学会関係

評議員（1986～1996）、フェロー（1986～）、中国四国支部事務局（1991～1992）、中国四国支部長（1992～1996）、無任所理事（1994～1996）、評議員（1998～2002）、支部顧問（1996～2012）、表彰委員（2001～2008）、代議員（2002～2004）

2021年度 第2回ORセミナー『地理情報システム入門』

開催趣旨：フリーのGISソフト「QGIS」を使って、国勢調査をはじめとする地理空間データを可視化、分析する方法を紹介します。実際の現場で、地理空間データを利用しようとすると、そもそものようなデータが整備されているのか、どうやってそのデータを入手するのか、など最初から躓くことも多いと思います。本セミナーは、実務や研究で地理空間データを利用しようと考えている方にとって、最適なイントロダクションとなるでしょう。事前にQGISをインストールしたパソコンをご持参頂ければ、実行しながら確認できます（ダウンロードサイト：<http://qgis.org/ja/site/forusers/download.html>）。

日時：2021年10月9日(土) 10:30～17:30 (10:15～Zoom入室可能、接続テストなどを行います。)

会場：Zoomによるオンライン開催 (申込でご登録のメールアドレスへZoom接続情報をご連絡いたします。)

コーディネーター・司会：東京海洋大学 渡部大輔

定員：60名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム：(敬称略)

10:30～10:35 **開催の挨拶** 司会：東京海洋大学 渡部大輔

10:35～11:20 **セッション1 「地理情報システムの概略」** 講師：東京大学 貞広幸雄
地理情報システムとは？／地理情報システムでできること／活用事例

11:25～12:10 **セッション2 「地理空間データの基礎知識」** 講師：東京大学 貞広幸雄
測地系・座標系／データモデル／標準地域メッシュ

13:00～14:10 **セッション3 「QGIS入門」** 講師：東京海洋大学 渡部大輔
基本的な操作方法／国勢調査データの入手／可視化

14:20～15:30 **セッション4 「QGISによる空間解析」** 講師：東京大学 長谷川大輔
検索・集計／バッファ分析／ボロノイ図／レイヤー分析

15:40～16:50 **セッション5 「QGISによる総合演習」** 講師：東京大学 長谷川大輔
ストーリー仕立て (例えば、防災) の演習

17:00～17:25 **セッション6 「地理情報システムとOR」** 講師：東京海洋大学 渡部大輔
ORの分野で地理情報システムがどう役立つか

17:25～17:30 **閉会の挨拶** 司会：東京海洋大学 渡部大輔
個別相談・質問コーナーおよびアンケート記述

備考：本セミナーは2017年度第2回、第4回ORセミナーと同じ内容を多く含んでいます。

参加費 (テキスト代込み)：正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 7,000円, 学生会員3,000円, 学生非会員3,500円, 非会員22,000円。 ※参加費の返金には応じられない旨、ご了承ください。

申込および支払方法：日本OR学会WEB「ORセミナー」<https://orsj.org/or-seminar>からお申し込み・お支払いください。

申込および支払締切：2021年9月17日(金)

お知らせ：非会員と学生非会員の方がご参加いただいた場合の入会特典は、終了させていただきました。

問合せ先：日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@m.orsj.org

4部会・グループ合同研究会 ～確率モデルの新展開～

主催：「信頼性とその応用」研究部会，「動的決定モデルとその応用」研究部会，「待ち行列」研究部会，「量子コンピュータと次世代計算機活用」研究グループ

実行委員長：岡村寛之（広島大学）

実行委員：大輪拓也（九州工業大学），岡村寛之（広島大学），河西憲一（群馬大学），木村達明（大阪大学），吉良知文（群馬大学），来島愛子（上智大学），鄭俊俊（立命館大学），矢実貴志（株式会社NTTデータ）

日時：2021年10月23日（土） 研究会：13:15～17:30，情報交換会：17:30～18:00（※状況に応じて情報交換会を延長）

開催方法：Zoomでのオンライン開催（12:45～入室可能，接続テストなどを行います。）

プログラム（講演題目，敬称略）：

13:15～13:20 **開会挨拶**

13:20～14:10 **セッション1** 座長：岡村寛之（広島大学）

横川慎二（電気通信大学）「故障物理に基づくデバイスの信頼性モデリング」
（休憩15分）

14:25～15:15 **セッション2** 座長：河西憲一（群馬大学）

佐久間 大（防衛大学校）「受付期間のある待ち行列ゲームにおける均衡解」
（休憩15分）

15:30～16:20 **セッション3** 座長：来島愛子（上智大学）

福永拓郎（中央大学）「不確実性下での適応的最適化」
（休憩15分）

16:35～17:25 **セッション4** 座長：大輪拓也（九州工業大学）

関 優也（慶應義塾大学）「イジングマシンによる量子化学シミュレーション」

17:25～17:30 **閉会挨拶**

17:30～18:00 **情報交換会**（※状況に応じて情報交換会を延長）

聴講参加申込：下記をメ切までに立命館大学：鄭俊俊（jzheng@asl.cs.ritsumei.ac.jp）にご連絡ください。

4部会・グループ合同研究会参加申込書

- ・お名前： 様
- ・ご所属：
- ・メールアドレス：
- ・研究会：出席・欠席（どちらか削除ください）
- ・情報交換会：出席・欠席（どちらか削除ください）
- ・活動されている研究部会名（自由記入）：
- ・その他（自由記入）：

※メ切（定員100名になり次第締め切り）：10月20日（水）17:00

問い合わせ先：「信頼性とその応用」研究部会

主査：岡村寛之（広島大学），幹事：鄭俊俊（立命館大学）

2021年度年会費納入のお願い

2021年度（2021年3月1日～2022年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。支払取扱票は、2021年1月以降もご使用可能です。

請求書が必要な場合は、必要事項（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）、請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）をメールにて事務局へご連絡ください。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月です。

年会費専用振込み口座

| | |
|-------|--|
| みずほ銀行 | 根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 シヤ）ニホンオペレーションズリサーチガクカイ |
|-------|--|

| | |
|--------|--|
| 郵便振替口座 | 00190-6-79492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会 |
|--------|--|

| | |
|--------|---|
| ゆうちょ銀行 | 〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会 |
|--------|---|

年会費（不課税） 正会員 14,400円
学生会員 5,000円
シニア会員 7,200円
*手数料は払込人様ご負担をお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。
*所属機関からお支払の場合は、対象の個人会員名と所属機関を事務局にお知らせください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

学会事務局夏季休業のお知らせ

2021年8月10日（火）～16日（月）

年会費の口座振替日変更のお知らせ

年会費自動振替の方は2021年2月22日（月）に引き落とししました。

2021年3月で卒業の学生会員の方へ

- 1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。
- 2) 退会希望の方へ
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、メールにて事務局へご連絡ください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013年から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

- 1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員のの方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。
 - ①WEBからの入会申込み
 - ②入会金600円のお振込み
 - ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

- 2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。
- 3) 機関誌送付希望者は有料学生に変更し、年会費（5,000円）が必要となります。

OR学会事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100 FAX: 03-3851-6055
E-mail: jimukyoku@m.orsj.org

*メールアドレスが変わりました。

各種変更はマイページをご利用ください。変更できない項目や退会届はメールにてご連絡ください。